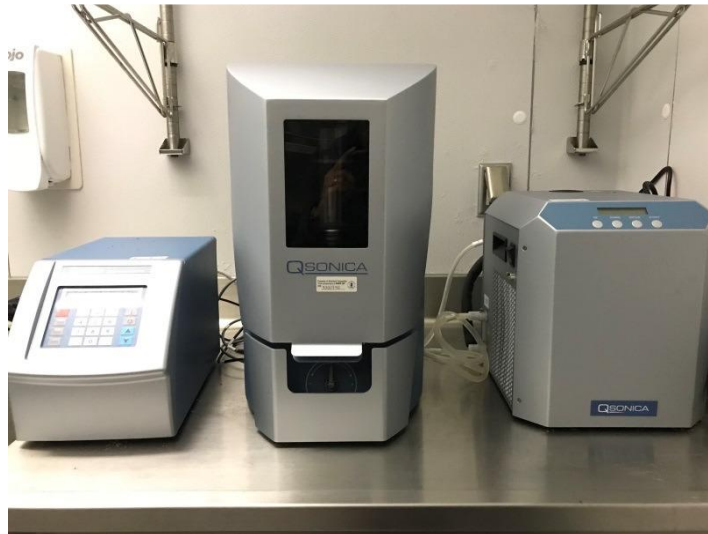


Q800R3 プロトコル クロマチン画分中のタンパク質の可溶化のための細胞分画とクロマチンのせん断



プロトコル

- サンプル種： RPE 網膜色素上皮細胞
3×10⁷ cells を 2 種類のバッファーに溶解し、3 つのフラクション（細胞質、核、クロマチン）に分画。
- バッファー： 9mM EDTA pH8, 0.2mM EGTA pH8, 0.1% Triton, 1mM DTT, プロテアーゼインヒビター
- 容量： 200μL
- Amplitude： 70%
- パルス： ON 30 秒、OFF 20 秒
- Total On Time： 5 分
- チューブ： 0.5mL エッペンドルフチューブ（薄壁）

お客様の声

消音ボックス内の照明が便利です。超音波処理後、不溶性のクロマチンが“消える”のを確認できます。

原文は[こちら](#)からご覧いただけます。

提供：QSONICA LLC 文責：ワケンビーテック株式会社